

C C U S 普及促進



佐藤隆彦会長

全国コンクリート圧送事業団体連合会（全圧連、佐藤隆彦会長）は5月29日、都内で第12回通常総会を開催した。2022年度事業報告・決算および、23年度事業計画・收支予算案等を審議し、すべての議案を原案通り承認した。任期満了に伴う役員改選では佐藤会長が重任となつたほか、副会長に土井豊実氏、吉良五男氏、常務理事に田中徹氏、共田昌一氏、専務理事に北口延郎氏を再任した。

冒頭のあいさつで佐藤会長は「昨年、国交省の推進する建設キャリアアップシステム（CCUS）の登録技能者数が100万人を突破したと報じられた。全圧連ではCCUSへの技能者登録料・レベル判定手数料の全額補助等を通じて普及促進を図つており、今後は基幹のシステムとして活用が進むものと期待している。一方、時間外労働

いのが現状だが、全圧連として未だ抜本的な対策は打ち出せていない。働き方改革に向けては4週6休、4週8休の実現を上部団体と歩調を合わせながら進めたい」と述べた。

23年度の重点事業には①全圧連組織の拡大・強化②適正な圧送工事原価の確保③安全施工の推進と労働災害の防止④生産性の向上および環境保全への貢献⑤技能者の確保・育成と処遇の改善⑥有資格者の育成と技能向上、評価・活用の推進⑦会員企業の評価・起用の推進——の7項目を掲げた。

他の専門工事業界と連携し、技能者の処遇改善と働き方改革に適応した工期・労働環境の実現に向けた活動を展開するほか、労働災害防止・安全管理や、若手入職者の確保に効果ある広報戦略を施工持続のための教育活動や、送技術・技能の社会的な必要性を対外的にアピールする「第2回全国圧送

月に迫っている。圧送業においては会社と現場とのポンプ車の回送時間が不可欠であるため、規定の労働時間内に收まらない場合改革に向けては4週6休、4週8休の実現を上部団体と歩調を合わせながら進めたい」と述べた。

議事終了後には、表彰状・感謝状贈呈者として次の各氏を選出した（敬称略）。

- （優秀従業員表彰）阿久津裕史（藤和コンクリート圧送）▽寺田達也（土井企業）
- （優良従業員表彰）前田敏雄（三進圧送）
- （特別表彰）宮下勝則（秋山企業）▽神宮司孝二（帝那興業）▽杉山正文（藤浪組）▽山本光彦（田畠建設運輸）▽中西稔（中村工業）▽中村孝一（徳栄）
- （役・職員表彰）早水久司（元全圧連常務理事）▽山崎清松（前全圧連技術委員）▽山口次郎（前中央技能検定委員）▽島田勝利（前全圧連技術委員）▽岩永健一（元全圧連技術副委員長）▽黒木誠恵（前全圧連理事）